

# やまぐちっ子学力向上だより

第 103 号 R01.6.28  
山口県教育庁義務教育課

## プログラミング教育の研修が行われました

5月29日に、来年度から全面実施となるプログラミング教育の研修を行い、県内7地域のプログラミング教育推進校の担当者等32名が参加しました。

研修では、参加者全員が実際にプログラミングロボットを使った研修を行い、「子どもたちが熱心に学習に取り組めそうだ」という手応えを感じておられるようでした。今後は、推進校と近隣の高等学校等との連携した取組を、10～11月頃に学校ごとに授業を公開し、実践研究の成果を発表する予定です。



プログラミングロボットを使った研修の様子

### <プログラミング教育推進校>

岩国市立平田小学校

柳井市立柳井小学校

下松市立下松小学校

山口市立鑄銭司小学校

下関市立一の宮小学校

長門市立深川小学校

山陽小野田市立赤崎小学校

## 小学校英語指導力スキルアップ研修会が行われました

6月14日（金）に小学校英語指導力スキルアップ研修を行い、各小学校外国語教育担当者や英語教育推進教員、小学校英語専科教員、各市町外国語教育担当指導主事等301名が参加しました。

研修の前半では、琉球大学の太田教授から「新しい学習指導要領が求める小学校英語の授業づくり～小中高の連携を視野に入れて～」と題して講演をいただきました。講演では、「目的・場面・状況等を明確にした言語活動」の重要性等についての説明があり、演習では参加者同士が活発に意見交換をする姿が見られました。参加者からは、「Do you have money?という一文にも様々な目的・場面・状況があることが分かった。今後は、明確な場面設定を意識した授業づくりを意識していきたい」等の感想がありました。研修の後半は、学校規模や複式学級のある学校等のグループに分かれて、熱心な情報交換が行われました。



研修グループ協議の様子

なお、中学校英語指導力スキルアップ研修会は9月20日（金）に開催予定です。

## ミドルリーダーレベルアップ研修（国語）が行われました

5月28日のミドルリーダーレベルアップ研修には270名以上の先生方の参加がありました。国立教育政策研究所 教科調査官 菊池英慈氏（国語）、学力調査官 黒田諭氏（国語）による講演や、全国学力学習状況調査の自校採点の結果を踏まえた『主体的・対話的で深い学び』の実現に向けた校内研修などの協議を行いました。

講演では、全国学力・学習状況調査の問題やどのような授業が求められているかについて説明していただきました。また、①学力の状況の確認、②付

きたい力（指導事項等）の明確化、③効果的な言語活動の設定、④単元の構想（学習過程の明確化）、⑤評価規準・基準の設定、⑥（授業後）評価の①～⑥のルーティーンが大切であること、評価規準に達しない子どもへの指導の手だてをもつことなど、授業改善につなげるための留意点についても説明がありました。

本研修の詳しい内容につきましては、参加者の各校における復伝をとおして情報共有していただきたいと思います。



黒田調査官の講演の様子

参加者の感想を一部紹介します。

- 学力調査を分析する時に、子どもの問題用紙にも着目して誤答を捉えていくという大切なことを教わった。
- 言葉による見方・考え方を働かせるという点に留意した国語科の目標について、具体的な方向性が分かり、大変有効であった。
- 「正答の反対はもう一步」という言葉を聞いて、明日からの授業で目の前の子どもたちに「もう一度」身に付けさせたい力は何だろうと考えを巡らせることができた。
- 小中連携をやっていたが、指導要領までさかのぼって研修する機会がなかったので勉強になった。9年間のつながりを改めて意識することができた。

## 学力向上・授業改善のための参考資料の紹介

山口県教育委員会の Web ページには、「学習指導のための基本資料セット」等の指導力向上・組織力向上のための資料をアップしています。「授業力に磨きをかけたい」「学習集団づくりや子どもとの関係づくりに試行錯誤している」「若手教員へのアドバイスをしたい」等、学力向上・授業改善のために、指導力や学校の組織力の向上を願っている先生方にぜひ活用していただきたい資料です。本年度は順次資料を更新していきますのでぜひ御覧ください。



指導資料 QR コード